

# 平成23年度 祝鶴田町成人式



## 未来に羽ばたけ 町の若人たち

1月3日（火）、平成24年になり  
県内で一番早い「平成23年度鶴田  
町成人式」が町公民館で挙行され  
ました。

今年度、鶴田町で新成人となつ  
たのは男性75人、女性66人の14  
1人。そのうち128人が、この  
日の式典に参加しました。

開式までだいぶ早い時間から公  
民館に次々と集う新成人たちは、  
色とりどりの華やかな着物姿や  
凛々しいスーツ姿に少し照れなが  
ら、家族と記念写真を撮つたり、  
数年ぶりに再会する友人たちとの  
近況報告や思い出話に花を咲かせ  
るなど、無事にこの日を迎えられ  
た喜びを分かち合つていました。

新成人たちが集まり厳かに始ま  
った式典は、参加者全員での国歌  
ならびに町民歌の齊唱、町民憲章  
の朗読へと続きました。

中野町長は、式辞で新成人を祝  
福するとともに、「昨年の東日本大  
震災から復興を導くのは皆さんの  
若い力です。鶴田町民として誇り  
を持ち、豊かな想像力とあふれる  
行動力で、国と町の発展への大い  
なる活躍を期待します。」と新成人  
へエールを送り、来賓代表の相川  
青森県議会副議長と出町町議会議  
長も、それぞれの思いを込めた祝  
辞を新成人へ贈りました。

多くの祝福の言葉を受けた新成  
人を代表して、マロン・アジイズ航  
太さんと桃沙さんが家族や恩師、  
友人が見守る会場の壇上で「今ま  
日々に会えて嬉しかったです。

新成人たちに  
聞きました



「成人代表謝辞」をした  
マロン・アジイズ航太さん

謝辞は本当に緊張しました。昨年  
の県民駆伝で、町の1区を走らせて  
もらつたけど、そのとき以上に緊張し  
ました。桃沙さんにだいぶ助けられ  
ました。中学の時からずっと陸上を  
続けて、今は平成国際大学で800  
mと1500mを専門にやっていま  
す。なんとか全国で名前が知られる  
選手になるよう頑張ります。



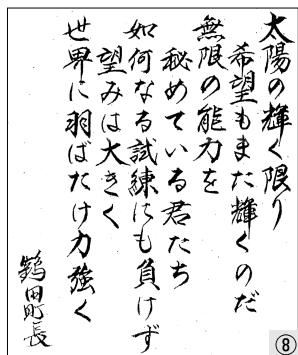
記念品づくりの会場で  
三橋こずえさん

今、五所川原にある派遣会社に勤  
務しています。平凡かもしません  
が、将来はママになって幸せな家庭  
を築きたいです。成人式で友人と  
日々に会えて嬉しかったです。

## ・鶴田町成人式



①式辞で新成人にエールを送る中野町長  
 ②成人代表謝辞を述べたマロンアジイズ航太さんと泉桃沙さん  
 ③新成人一人一人に中野町長から記念品が手渡される  
 ④成人の集い・恩師からのメッセージでピアノ演奏を披露した福井崇史さん  
 ⑤記念撮影・リラックスした表情を見せる新成人たち  
 ⑥成人の集い・中学時代の映像に思わず笑みがこぼれる  
 ⑦将来への希望を胸に参加者全員で乾杯  
 ⑧中野町長から贈られた記念の色紙



式の最後は、会場を体育センターに移し、参加者全員での記念撮影、そして成人記念の「つるた焼」の陶器づくりが行われ、新成人たちは自らの二十歳の想いを陶器に描きつづっていました。

すでに就職して社会人として活躍している人、夢に向って勉学に励んでいる人、それぞれに不安や悩みを抱え、これからも多くの困難が訪れるかもしれません。それでもこの日、大きな扉を開けた若者たちは、社会への責任を感じ、喜びと希望に瞳を輝かせ、今まで育ててくれた家族や恩師、地域の方々への感謝の気持ちを胸に、未来に向かって大きく羽ばたきました。

**成人の集いで司会をした  
長内健太郎さん**  
鶴田消防署の消防士をやつていま  
す。町民の方々を助けるこの仕事に  
やりがいと誇りを持っています。友  
人たちも頑張っているのでわたしも  
町のために頑張ります。



**成人の集いで司会をした  
奈良彩乃さん**  
弘前大学医学部保健学科で、放射線の医学療法を学んでいます。将来放射線治療で少しでもガン患者のお役に立てればと思っています。



**鶴田町社会福祉協議会に勤務する  
齋藤左太さん**  
今の仕事を3年続けると「介護福祉士」の受験資格がとれます。今は頑張って「介護福祉士」になって町の人たちの役に立ちたいです。

